

第5回 王寺町総合計画審議会

日 時	平成 27 年 12 月 1 日 (火) 18:00~20:00
場 所	やわらぎ会館 3 階 小会議室 2
案 件	1. 王寺町人口ビジョン (素案) について 2. 基本計画 (現状と課題) について 3. 今後の審議内容及びスケジュールについて 4. その他

あいさつ

【事務局】

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

それではただいまから、第5回王寺町総合計画審議会を開催させていただきます。本日の会議の委員の皆さまの出席は15名で、総合計画審議会条例第6条第2項の規定によりまして会議が成立しますことをご報告いたします。それでは、開会にあたりまして会長からご挨拶をいただき、議事の進行をよろしく申し上げます。

【会長】

皆さんご無沙汰しております。本日は第5回となっておりますが、前回の会議から14ヶ月ほど間が空きました。実は国から「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を出すようご依頼がでており、そちらにしばらく注力せざるを得ない状況となっていました。それでは前回以降の検討経過を踏まえてから進めたいと思いますので、まずは説明をお願いします。

検討経過について

【事務局】

それでは検討経過について説明させていただきます。昨年10月に審議会を開催させていただいて以降、国において「まち・ひと・しごと創生法」が公布されたことに伴い、誠に勝手ながら計画の策定期間を平成26年度から27年度に変更させていただき、大変ご迷惑をおかけいたしました。今現在、少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を参考に、本町においても「人口ビジョン」「総合戦略」を平成27年度中の策定に向け、取り組んでいるところでございます。このようなことから、総合計画の策定についても、この「人口ビジョン」や「総合戦略」の内容を盛り込みつつ、全体計画として整合性を図りながら、「自助・共助・公助」による協働のまちづくりを推進する実効性のある計画として策定する必要があるため、現在、「基本計画」の中で、各施策ごとに「基礎データ」を基に、「現状と課題」「めざす姿」「関連する行政の主な事業」を再度、各部局で洗い出し、さらに庁内策定委員会では部局を超えて、内容について議論を交わしている

ところでございます。今回は、精査段階ではございますが、以前お示しをさせていただいた分をベースに施策 40 までの「現状と課題」「めざす姿」について素案として取りまとめを行いました。ゆっくりご覧いただく時間はなかったとは思いますが、事前に配布させていただいた基本計画検討ワークシートについて後ほど案件 2 のところで、不足している点や修正が必要な点などについてご意見を賜りたいと思いますのでよろしく申し上げます。検討経過については以上でございます。

【会長】

それでは早速議事に入らせていただきます。まずは今、お話に出ておりました「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本となる「人口ビジョン」について説明していただきます。また、それが総合計画のベースとしての人口計画にもなるということで、理解してよろしいでしょうか。

【事務局】

はい。

案件

1. 王寺町人口ビジョン（素案）について

【事務局】 <事務局より資料 王寺町人口ビジョン（素案）【概要版】に基づき説明>

【会長】

町独自推計を使うという結論なのでしょうか。

【事務局】

そうです。

【会長】

出生率は現在の 1.62 を使うのは危ないということでしょうか。

【事務局】

平成 26 年の合計特殊出生率は現状ではまだ出ていませんが、同じ計算方法で計算すると 1.26 になる見込みです。10 頁の一番下の表に記載していますが、シミュレーション 2 の推計に基づいて段階的に 2030 年までに 2.1 までもっていくということで町独自推計をしています。平成 26 年が 1.26 になり、平成 27 年は 1.3 となります。また、南元町の開発による人口増加も勘案し、町独自推計として平成 72 年時点における人口を約 2 万人と推計しています。

【会長】

これについて何かご質問ございますか。これが総合計画のベースになるということですね。

【委員】

人口のピークが平成 32 年ということですね。南元町の開発を考慮して推計しているとのことですが、駅前のマンション開発の計画についてはどう考えられているのでしょうか。

【事務局】

南元町は全戸数がまだ埋まっておりませんので、現在確実に想定できる範囲で人口増加を加味しています。王寺駅などの今後の開発に関しては今の時点では想定していません。

【委員】

私は南元町にいますが、想定が甘すぎるのではないかと感じました。町独自推計までは人口が達しないのではないかと思います。想定ですので難しいとは思いますが、残っている戸数から計算しても難しいように感じ、甘い「人口ビジョン」になっていると感じます。初めは、駅前のマンション開発も含まれているのかと思いました。

【事務局】

南元町が一番大きい開発で、住宅開発で転入して来られる方については、ある程度若い方が入居されることが想定されますので、そういった分も加味して計算しています。

【委員】

希望的すぎる観測ではないかという印象があります。

【事務局】

目標人口については、国が示す社人研などの推計人口では右肩下がりに人口が減少してしまうところを、「総合戦略」の策定により、子ども子育てやまちの魅力づくり、定住促進など様々な施策を講じることで人口増加を目指していこうということで設定をさせていただきました。

【事務局】

ご存知のとおり現在国勢調査を実施しており、まだ数字は確定していませんが、速報値で王寺町は人口が約 2 万 3 千人を超えてくる状況となっています。そのようなことを考慮し、定住化や UIJ ターン、また、地域のマンションの開発なども含めて様々な施策を講じることで、この町独自推計の目標人口を目指していくべきではないかと考えています。少し前であれば、人口 3 万人という総合計画を作成していた時期もありましたが、現在は国勢調査を人口のベースとしており、大体近い数字のなかで推計を出させていただいていると考えております。

【会長】

社人研や日本創成会議の推計などを使っていますが、これは外部要因であり日本全体の要因をおさえているわけです。町独自推計は政策的に人口増の内部要因をつくり、政策圧力をかけることで目標

人口に近づけていきたいという決意表明でもあると思います。これに向けて頑張るために政策をつくるということで理解しましょう。

【委員】

人口2万人が目標になるということですね。

【事務局】

そうです。

2. 基本計画（現状と課題）について

【会長】

基本計画の現状と課題について事前配布されていると思います。これはあくまでも、現状と課題であり、方向性や施策の内容については一切書かれておりません。本日は基本計画の現状と課題について、不足や修正が必要とお考えになるところがございましたら、ご意見をいただきたいと思います。しかし一問一答で進めると時間がかかるので、4、5人にご意見をいただいたところで、一旦返答する形で進めさせていただきます。ご意見、また答弁にもできるだけ簡潔にお願いします。

【委員】

地域コミュニティについては、自治会が率先して活動できるような環境が必要であり、行政が自治会に対して求めるものと、それに対して行政がどうするかといった内容が必要ではないかと思います。

【委員】

これから高齢者も増えていくので、人と人とのつながりや絆を大切にしたい、誰もが入っていきやすいような地域づくりが必要だと思います。自治会活動はその最たるものですが、それよりもっと小さなものからでも、つながりを大切にしていきたいと思います。

【委員】

王寺町はやはり住民と地域に魅力を感じます。公の色々なメニューが総合計画に載っていると思いますが、王寺町は王寺町なりの施策を講じていただき、できるだけ三位一体で取り組んでいきたいと思っています。

【委員】

王寺町は非常に狭い面積であり、大きな企業を誘致することはできないという状況です。そういった面で施策8では土地利用の基本事項が記載されています。実は、これに関連するところで、最後の施策40 観光・交流のところで、「達磨寺、明神山のさらなる魅力化、新たな観光資源の発掘」とありますが、今現在の明神山のふもとあたりの自然林のところや、明神山の反対側で柏原市側の山林を開

発し、自然の森をつくるといったことはできないでしょうか。また「総合戦略」の会議でもお話しさせていただきましたが、香芝市との境目には水が流れていますので、ホテルを飛ばすことができるような川にできないのでしょうか。明神山の展望デッキを増やしていくということも必要であります、明神山と周辺の山林を一体とした自然の森なりをつくれれば、幼稚園児や小学生などに自然の中での教育を行うこともできると思います。私は開発については素人でよく分かりませんが、専門家から所見をいただいたり、調査することも一つの方法ではないかと思えます。

【委員】

畠田駅前をもう少し広く総合開発できないでしょうか。これから人口を増やしていくのであれば、畠田が王寺の第二の中心になるような総合計画をお願いしたいと思えます。また施策3人権についてですが、「新たな課題への対応」とあるところで、現在は性的マイノリティの問題が挙がっておりますので、そのあたりも入れていかなければならないと思えます。また施策4男女共同参画では、女性の社会進出を図るために保育所の充実を合わせて考えていく必要があると思えます。他の施策のところでも出てくると思えますが、絡めながら施策を考えていかなければなりません。それから、公共交通機関について将来的なことを考えると、王寺駅、近鉄生駒線と田原本線の駅の一体化を将来ビジョンに描いていく必要があると思えます。また王寺駅の南の再々開発も描いていただきたいです。それから施策14循環型社会について、ごみの袋の有料化が近頃よく取り入れられていますが、近隣の他市町村の状況やメリット・デメリットがどのようになっているのか気になりました。施策32学校教育では貧困児童の問題が気になっており、家庭への支援とともに子どもへの直接支援も考えていかなければならないと思えます。また施策33生涯学習については、「オーケストラコンサート開催に向けた設備の対応」ということですが、大きなホールをつくって失敗してしまったというような例もありますので、千人以上を収容するようなものは大阪のフェスティバルホールに任せておけばよいと思えます。千人以上を収容できるホールをつくっても結局は他の町の二の舞になってしまうのではないのでしょうか。町の中で生まれてきた様々な文化的要素を総合できるようなものを考えていった方がよいと思えます。施策35歴史・文化財では、色んな遺産が出てきているので町民が見て歴史を知ることができるきちんとした資料室が必要だと思えます。資料館とはいわないまでも、資料室のようなものを設けていただきたいです。町民が王寺町に対して親しみや馴染みをもつという面からも必要だと思えます。

【会長】

5人から、現状と課題に対するご意見をいただきました。施策1参画協働で少し気になったのは、地域自治会活動への支援や地域における住民自治に対する姿勢というものが今後問われてくるのではないかということです。お答えしにくいかもしれませんが、大体の方向性で結構ですので教えていただきたいです。

【事務局】

王寺町の場合は地域コミュニティの核を担っているのが自治会組織かと思えます。現状と課題として書かせていただいておりますが、全ての方が地域活動に参加しているかといえばそうではなく、や

はり時代の変遷とともに変わってきており、コミュニティへの帰属意識が薄れてきている部分は否めません。王寺町の場合は52の自治会がありますが、組織の規模の大小、あるいは活動の差があるのが現実です。そういった中で会長には本当にお世話をかけて地域コミュニティの核としてご尽力いただいています。自治会やコミュニティ活動を担っていただける人材自体が高齢化し、数が減っているように感じています。今後も地域コミュニティに力を入れていくとなると、当然コミュニティのリーダーとなるような方を確保することが求められます。自助・共助・公助を念頭に置いたコミュニティを目指していかなければならないと思います。そこで、自治会活動への支援、コミュニティのリーダーに対する育成支援、あるいは集会所単位で世代を超えて人が集まる機会の提供に対する支援などが必要であると考えています。また、行政だけや地域のコミュニティだけで担えない部分については、新たにボランティアの確保など情報の提供・一元化や育成に対する支援を今後考えていかなければならないと認識しています。現在は自治会を中心として地域コミュニティを担っていただいております。行政としては今後も継続して取り組みをお願いするとともに支援していきたいと考えています。

【会長】

その他、問いかけに対するコメントはございますでしょうか。

【事務局】

全体的な話として、皆さまからは今後に対するご提案をいただいておりますので、事務局としてはそれに対するコメントをさせていただくというよりは、今後出させていただく施策の中に皆さまからいただいたご意見を盛り込んでいけるよう、今回はご意見を聞かせていただきたいと思います。

【委員】

コミュニティへの帰属意識の希薄化と言われると非常につらいところはありますが、自治会の加入率は高くなっています。そういった面では自信を持っていますが、やはり希薄化については否めない状況です。ただ今後の課題として、そもそも小学校の校区制の問題も含めた地域との連携を考えなければなりません。校区制を変更するのは難しいと思いますが、3つある小学校ごとに大きくブロック分けすることで、学校と地域や家庭の連携が取りやすくなり、地域で子どもを教育していく環境も整ってくると思います。「人口ビジョン」で2万人を維持しようということであれば、小学校の廃校にはならないと思います。年齢構成にもよりますが、若い方にどんどん入ってきてもらい、できるだけ子どもの数は増やしていかなければ町が成り立ちません。そうすると自治会の体制を変えていくということも将来的には考えていかなければならないと思います。

【会長】

本日はあくまでも現状と課題がこれでよいのかということが議論の内容です。こうあってほしいというご意見も自由ではありますが、現状認識や課題に対しての点検をしていただきたいと思います。今のお話は施策1の参画協働ですが、ここは当然皆さまのご関心が一番高いところになると思います。奈良市は地域住民自治協議会をつくらうという方向に舵をきりました。宇陀市も地域住民自治協議会

をつくりスタートしています。また上牧町や香芝市も動く可能性があります。地域の自治会活動や別の委員会を底支えするために総合型の地域住民自治協議会を導入しようとしているわけであります。舵をどう切るかという施策的な決断が必要だと思っておりますので、それについて事前に研究していただきたいと思っております。自治会に全てを押し付けるわけにはいかないということははっきりしていますが、現状と課題の認識がまだ甘いと思っております。その議論については施策をどうするか決まった時点でまた議論したいと思っております。

【事務局】

今おっしゃっていただいた課題については、まちづくり基本条例等を踏まえた中で町としてできる部分をもう少し次の施策提案の中で出ささせていただきたいと思っております。

【委員】

施策 33 生涯学習の中で、公民館について町民の皆さまの知的好奇心を満足させるというところで留まってしまうと味気ないと感じています。色んなグループが利用しており、そのグループそれぞれにリーダーがいらっしゃるのので、そのようなリーダーの方に集まっていたりするような場を持つことでボランティアをしてくださる方など色々な人材が掘り出せるのではないのでしょうか。生涯学習と人材発掘をつなげていければよいと考えております。

【委員】

現在は道がだいぶ良くなりましたが、まだ車一台が通れるくらいの狭い道もたくさんありますので、まずは道路の整備について全力で取り組んでいただきたいと思っております。それができれば、救急体制や防災体制も充実してくると思っております。また、最終的には商業・工業にも波及すると思っておりますので、道路をきちんと見直していただきたいと思っております。

【委員】

施策 22 高齢者福祉のところですが、年々高齢者も増えていますが、高齢者同士のつながりがあまりないと感じています。定年退職した後の高齢者は、家に閉じこもったりして付き合いがないので、お付き合いができるような場が欲しいと思っております。

【委員】

現在、王寺町の南の方で和歌山線から東側が市街化調整区域に設定されており、現状は何もできない状態です。市街化調整区域を外していただくことで住宅も建ち、道路もでき、人口が増えると思います。なおかつそこへ大型店を誘致すれば、消費も増えると思います。市街化調整区域が外れるような政策ができないのでしょうか。

【会長】

ここまでのご意見に対して事務局よりコメントいただけますでしょうか。

【事務局】

道路については、基幹幹線としての国道の整備、県道の整備、さらに町内の道路についても必要なところは改善する形で検討させていただいており、現状と課題の中で優先順位をつけて洗い出しをしている最中でございます。また、高齢者同士の集いの場ということですが、サロン活動ということで、地域の集会所などを利用させていただくことによって、定期的に近所の高齢者の方が集える場所を地域の方に主導していただき拡げていきたいということを施策にも盛り込んでいきたいと考えています。また、土地利用について、市街化調整区域や用途地域、駅前も含めて今後の発展のためにどう見直すべきかを現在考えているところであります。王寺町では都市計画マスタープランの策定は現在できておりませんが、将来の王寺町にとってどういった土地利用のありかたが必要であるか、しっかりと課題を出しながら検討を進めていきたいと考えております。

【事務局】

生涯学習については、生涯学習の本来あるべき姿はおっしゃっていただいているとおりでと思います。その中で、基本方針と現状と課題については表現方法をもう少し工夫していきたいと思えます。

【委員】

施策6 行政経営について、王寺町は徴収率が高いということですが、町の活性化のためには財源の確保はとても大切なことだと思います。しかし収入だけでなく支出の管理について徹底していくということも一文加えていただくと、町民の皆さまも安心すると思います。私たちの世代では税金がどのように使われているかということにとっても感心があり、話題にもなりますので、お金の動きが分かるようにしていただきたいと思えます。

【委員】

施策7 広域連携について、地域との連携を取るということが具体的にできるものとできないものがあると思えますが、できることから具体的なものを示していただきたい。

【委員】

施策22 高齢者福祉、施策23 介護保険、施策24 障害者福祉について、相談支援体制については充実に向けて力を入れていただき、高齢者や障害者だけでなく介護する家族の高齢化なども問題になっていると思えますので、介護者に対する支援も今後の課題として含めていただきたいと思えます。また、施策28 保育環境や施策29 子育て支援について、保育所の充実という面では現在は保育所が二箇所しかありませんので、待機児童はゼロかもしれませんが、希望施設への入所が叶えられているかどうかについては、問題があると聞きます。施設の充実ということも含めて考えていただきたいと思えます。また、子育て支援について王寺町はどうか分かりませんが、最近増えている一人親家庭についても逃してはならない課題だと思います。この一人親家庭への支援も、現状と課題へ入れていただければと思えます。

【委員】

「人口ビジョン」について王寺町は人口2万3千人がそれほど減らず、ほぼ横ばいで推移するという目標を持てるということでしたが、私も今の人口からみてそれほど減ることはないのではないかと思っています。社人研の1万1千人という推計は前から出ていましたが、あまりにもひどい数字だと思います。そういう点では今後10年15年先を見据えた総合計画という観点からして、王寺町の人口計画がほぼ横ばいで推移できるという推計は、ある程度納得できる数字だと思います。その上で、各施策については現状と課題だけが出ているので、将来どうしていくのかというのは今後の議論になると思います。具体的にソフト面とハードの面でどのようなまちづくりをしていくかについては、これから決めていくという話なので、今のところは形が見えない状態であり、どのような形で総合計画がまとまっていくのかははっきりしないため、どのような意見を申し上げればよいか分からないというのが正直なところです。防災計画については、例えば久度地区の密集市街地について今後10年、15年の中でどのようなことを考えなければならないか検討する必要があります。以前から聞いていた話では駅前から三郷までの幹線道路を通すという話もあります。大きな道を通すことと中央公民館の建替えを一体化することで久度地区の防災拠点づくりや防災計画などハード面の対策を整え、それにソフト面の課題をどう絡ませるのかという問題もあります。町長もおっしゃっていた畠田駅前開発や整備をどうするのか、また、それと168号の整備をどう絡めるのかについてはここ5年から10年の話になると思います。このあたりの絵が分からないことには、道路整備やまちづくりも描けないと思います。土地利用計画で市街化調整区域をもう少し考え直した方がよいというようなお話でもしましたが、現に葛城市の以前新庄町だったところでは市街化調整区域の中でも戸建ての住宅は建ててもよいという緩和規定をつくったことで人口が増え、宅地の供給も多くなっています。そのような施策も土地利用計画の中では考えていくべきだと思います。ハード面に対して自治会やボランティアなどソフト面をどう絡めていけばよいかなどが出てくれば意見が出せると思います。また今後の問題としては、住み分けの問題があります。行政として取り組まなければならない問題と、住民が取り組んでいくべき問題、またボランティアや民間事業者が行った方がうまくいく問題もあると思います。役割分担について現在のシートでは、住民と地域と事業者という3つの区分になっていますが、私はむしろ住民側が取り組むべき問題と、ボランティアや地域が取り組むべき問題、また民間事業者に思い切って渡した方がよい問題もあると思います。そういった住み分けを今後の問題として振り分けていってはいかがでしょうか。最終的には5年、10年先に町民が夢を持てるような総合計画にしないといけないと思います。できる問題とできない問題が出てくるとは思いますが、5年10年先を見据えてこうあるべきだという姿がないと町民に対しても申し訳ないし、夢も持ってもらえないと思います。

【委員】

まず、現状と課題の欄が狭いのではないのでしょうか。というのは、データについて書かれているところがありますが、全体を通してデータに関するエビデンスが少なく一般論を語っておられる部分が多いのが非常に気になりました。例えば施策6の財政の話をするにも、徴収率はよいということは記載されていますが、財政の状況については現状ですら何も記載されていません。また貧困の問題で一人親についてご意見もありましたが、現状がどうなっているのかなど踏まえていくことが行政とし

て大きなポイントになると思います。人口推計につきましても、努力すれば2万人を維持できるというある意味美しい絵を描いていますが、これは希望的観測であり、周辺の市町もやはり努力されていますので、悪く言えば人口の取り合いをしていることとなります。王寺町が勝てばよいという話でもないので、他所の動きなども押さえながらバランスをとる必要があると思います。例えば防災については、皆さまご存知のとおり先般茨城県で大雨が降り大水害になりました。奈良であのレベルの豪雨があったとしたら王寺町は水没すると思います。災害については一番大きな問題ではないかと思しますので、少し視野を広く持って考えていただきたいと思います。また、道路や建物などに対して補修という側面が抜けていると思いました。そろそろ建設よりも補修に費用が掛かってくるのではないかと思います。町道についても耐用年数を押さえなければ、財政に影響を与えます。防災については、ハザードマップをきちんと全戸配布されているということで、その辺りの対応については大丈夫だと思いますが、最近問題になっているのは避難所が危険な場合があるということです。

【会長】

今までで5人にご意見をいただきましたので、返していただけるご意見があればお願いします。

【事務局】

まず、総合計画についての回答ですが、基本構想の中ではまちの将来像やまちの進むべき方向、また、目標などを明示した中長期的な計画となっています。今回お配りさせていただいているものは、5年を目処にした基本計画となっており、後の方には役割分担がありますが、当然行政だけでは人口減少社会の中では住民サービスの提供が困難になっていく部分もあると思います。まずは施策ごとに現状と課題を洗い出し、その課題解決に向けて将来のあるべき姿を設定し、それに対してハードとソフトの両面から5年でどういった施策を展開していくかを記載します。そして行政がとるべき事業など役割分担も明記した上で次回の総合計画の審議会でお示しさせていただきたいと考えております。また、それぞれの施策で現状と課題を設定し、限られた枠の中に落とし込んでいく中で、おっしゃられたようにエビデンスが必要になります。それぞれの各分野の中で統計資料を洗い出し、その中でこのような設定をしているのが現状であります。また、まだ整理ができていないため、次回の総合計画審議会でも改めて裏付けをお示しさせていただきたいと思います。当然、現状と課題にしてももともと数があるのですが、それぞれの施策の中で優先順位がありますので、重きをおかなければならない分について絞って記載させていただいています。それ以外では、介護する人に対する支援、また保育環境、福祉関係についてもいただいたご意見を原課に伝えたいと、盛り込まなければならない課題について考えたいと思います。行政経営については、先ほどおっしゃっていただいた通り、皆さまにご理解を得て納付いただいた貴重な税金がどのように使われているのかについて、現状と課題の中で書かれている通り、行政評価ということで事業の評価も必要であると考えています。また広報ということでもどのように使われているのかについて広報紙だけでなく地域に赴いてお伝えする機会の確保についても今後計画づくりの中で考えていき、盛り込むべき部分については盛り込んでいきたいと思います。広域連携につきましても、ご承知のとおり王寺町周辺は小さな町ばかり集まっており、一部事務組合を設立し行政サービスを担っています。また、新たな枠組みの中で、広域連携ができるかということ考

えなければならないと思います。人口が減っていく中でこれまで通り公共施設の維持をしていくというのは、どこの団体も困難なことです。そういった問題についても今後検討していかなければならないと思います。さらには公共施設の長寿命化の問題についても、いろんな施設や道路も年数が経っています。それは王寺町のみならず全国で言えることで、国が求めているように公共施設の総合管理計画ということで、今後の改修や統廃合をどのように進めていくかという計画づくりも必要です。そのようなことについても基本計画の事業の中にしっかりと取り入れていきたいと思っています。

【会長】

全員にご意見をいただきましたので、少し確認をしたいと思っています。委員の立場で発言する部分ではないかもしれませんが、ご了承ください。一つ目は現状と課題について、課題を網羅しきれているかについてまだ不安があるという点です。それは、裏付けされているデータが示されていないということもありますし、また、そのデータを出していただくことで隠れている課題が出てくる可能性もあります。しかしその部分については本日議論ができません。行政がやらないといけなとおっしゃったことについては必要課題として認識されていると思うが、それに対する現状と課題が出ていないといけなと思います。先日、別の町で現状と課題と事業が合っていないということがありましたので、そういうことがないようにしていただきたいと思っています。二つ目は、将来的に課題を克服するための目標数値の設定をお願いしたいということです。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でもKPIを設定しますが、今日の総合計画では目標数値を設定することは常識となっています。目標数値を設定するに当たっては、各部局長の最終承認を得た上で出していただきたいと思っています。担当者の思い付きや部局長が承認していないままに、低い数値を出してくるということは通りません。部局長の町民に対する公約ということで扱います。議会報告もされますので、目標数値の設定についても部局が覚悟を決めて出していただきたいと思っています。3つ目は、役割分担の在り方について、王寺町の基本行動原則として自助・共助・公助なのか、それとも参画と協働なのかをここで確認させていただきたいと思っています。条例ではなく、理念・原則といったものでしょうか。

【事務局】

まちづくり基本条例などの取り組みの中に盛り込んでいきたいと考えています。

【会長】

ということは総合計画で先取するということがよいのでしょうか。そうであるならば役割分担のところ、住民・地域・事業者と分けていただくのは結構ですが、その横に行政を入れていただきたいと思っています。

【事務局】

行政については別に設けております。お配りしております資料では、基本方針と現状と課題の部分だけになっておりますが、全体としては行政の部分だけで1頁とらせていただいております。

【会長】

分かりました。K P I 部分は各部局のトップが承認の印を押して出していただきたいと思います。それは必ずご確認ください。またもうひとつだけ申し上げたいのが、参画協働を全体政策にしますので、全編に渡って現状と課題から上がってくる課題に対して、住民がなすべき役割、地域がなすべき役割、また事業者、行政がなすべきことの区分の間に協働すべき課題みたいなものを出した方がよいと思います。住民、地域と行政が協働しなければ解決できない課題が抜けているように感じます。きれいに役割分担できる世界ではないため、そのところをお考えいただきたいと思います。また、次のステップでは、基本構想部分にある理念や施策の大まかな基本方向がセットで出てこなければ、めざすべき方向の議論もしにくいと思いますので、全体体系を改めて提示していただきたいと思います。もしそのような見本が欲しいということであれば、私に関わった中で生駒市の総合計画が公開されています。また私が委員長を務めたわけではないのですが、奈良市、丹波市、西脇市も整理されています。また私自身が設計した愛知県の高浜市が公開されていますので参考にしてください。

【委員】

一点忘れていましたが、工場地帯が駅の近くにあり、町として将来的にもあの場所にあのままあってもよいと考えられているのでしょうか。もっと土地を有効利用できるのではないのかなと思います。

【会長】

その場合は都市計画審議会と並行しながら書き込まなければならないと思います。そうすると、土地利用の施策にある「土地利用のあり方の検討が必要です。」の中に市街化区域への編入だけではなく、工業地域も含めて検討が必要になります。それから確認ですが、先ほど都市計画上の用途地域の話が出ましたが、それがどの程度弾力的に誘導していけるのかという見込みもある程度描かなければならないと思います。固定化した総合計画ではなく、ある程度見直しが可能な書き方ができるかどうかについては、いかがでしょうか。

【事務局】

都市計画の線引きや見直しについては町単独でできる事項ではありませんので、町としてきちんとした裏付けをもって県とも調整しながら、やらせていただきたいと考えています。

3. 今後の審議内容及びスケジュールについて**【事務局】** <事務局より説明>

以上